

施策番号 1-1-4	施策名	地域林業の推進	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり			
			政策名	持続可能な農業の基盤整備と支援の強化			
	主管課	農林課	課長名	我妻 修一	内線	242	
	施策関係課						

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
森林が持つ多面的機能の理解促進と、機能に応じた森林の整備・保全をすすめます。		町民・町有林・私有林・森林所有者	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林が持つ多面的な機能について町民の理解を深める</li> <li>計画的な保育・造成等により森林を適正に管理する</li> </ul>				森林が持つ多面的・公益的機能(災害防止・水源かん養・生物多様性の保全・生活環境の保全・地球温暖化防止など)が発揮される
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標
① 森林が持つ多面的機能を知っている町民の割合	住民意識調査	%	85.9	85.9	84.9	87.5	90.0
② 適正に管理されている町有林面積の割合	森林調査簿より	%	99.3	98.9	99.6	99.6	99.0%以上
③ 適正に管理されている私有林面積の割合	森林調査簿より	%	94.6	94.6	95.0	95.0	95.0
④							
成果指標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①森林整備の必要性の理解度を段階的に高めていくという考え方により、目標を90%としたもの。</li> <li>②限りなく100%に近い適正管理面積を目指すもの。</li> <li>③策定時と同程度の高水準を維持する考え方により設定。</li> </ul>						

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	51,257	74,474	62,966
人工数(業務量)	0.8924	1.1000	1.0174

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>育樹、植樹など、町民参加型の事業中止による、町民の森林機能への理解促進の低下。</li> <li>各種計画に基づく取り組みの継続により、高水準を維持している。</li> </ul>
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境贈与税を活用した事業実施により、森林の持つ多面的機能の理解促進が進み、目標達成が期待できる。</li> <li>計画に基づく森林の管理、保育の継続により、目標達成が期待できる。</li> </ul>
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種計画等に基づき、町有林の植栽、下刈、除伐、間伐、野そ駆除等を実施した。</li> <li>幹線防風林配置計画策定のため、森林環境贈与税を活用した風向・風速調査を2か年(令和2年度、3年度)で実施する。</li> <li>豊かな森づくり推進事業、除間伐促進事業、野そ駆除事業に対し事業費の支援を行った。</li> </ul>		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

進捗結果	A	B	C	D	E
				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室町森林整備計画に基づき、適切な町有林、民有林の管理をする必要がある。</li> <li>・森林認証制度の導入による森林所有者の造林意欲向上が期待されている。</li> <li>・森林環境贈与税の有効活用を検討する必要がある。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	

**5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・風害防止の観点から、幹線防風林の有効性について客観的データに基づき分析し、幹線防風林整備計画を策定、整備を進める。</li> <li>・令和2年度に実施した民有林所有者の意向調査結果に基づき、適正な森林管理を進める。</li> <li>・町民の森林機能への理解を促進するため、森林環境贈与税の有効活用について検討する。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**6. 経営戦略会議(庁内評価)**

評価	成果指標等から、変わらないと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	コロナ禍の中、前進はしていないが後退もしていないというところで、「D変わらない・維持した」と評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果				○
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林を身近に感じる取り組みとして、パネル展・現物の展示など町民が触れたり知ったりできる取り組みがあるといいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 実現した</li> <li>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</li> <li>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</li> <li>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</li> <li>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</li> </ul>				